

鎮痛薬、整腸薬、消毒薬、日焼け止め、防蚊スプレーなどの OTC 薬の推奨

瀧藤 重道

このみ薬局

途上国へ 1 ヶ月以上滞在すると、何らかの健康問題が 50-60% に発生すると言われている。目的地によっては 70% もの人が下痢を起こし、マラリア、デング熱、ダニ熱（リケッチア疾患）が流行している地域では虫除け対策が必要とされている。また、熱帯、亜熱帯の旅行地、標高の高いところ、海辺のリゾート地では、日光を浴びすぎて日焼けをおこす可能性がある。旅行者にはこれらのリスクから身を守るために下痢、虫除け、日焼けの対策の薬、知識が必要となる。薬はドラッグストアやインターネットで購入することが可能であるが、一般の方には個々の成分の違いが判断しにくい。また、セルフメディケーションでの対応できる範囲を超えているのに自己判断で病院受診をせずに危険な状態に陥ることも得るので、セルフメディケーションで対応すべき状態か病院受診が望ましい状態かの判断をする知識が必要となる。これらを解決するのは薬剤師の役割であり、海外渡航特有の感染症対策や生活アドバイスを踏まえた OTC 薬の説明をすることが望まれている。本シンポジウムで海外へ持参することが推奨されている薬についての注意点を解説する。多くの方に薬局薬剤師が渡航医学の分野で活躍できることを知ってもらいたい。

【略歴】

- 2006 年 名城大学薬学部卒業
- 2006 年～2009 年 医療法人東恵会星ヶ丘マタニティ病院 勤務
- 2009 年～現在 株式会社ファーマアシスト このみ薬局 勤務
- 2011 年～現在 日本バレーボール協会 アンチドーピング委員会 所属
- 2015 年～現在 社会福祉法人やすらぎの郷 オアシスこども園 学校薬剤師 就任
- 2018 年～現在 名古屋市立第一幼稚園 学校薬剤師 就任
- 2019 年～現在 名古屋市薬剤師会理事 就任